

危機対策本部会議

日 時：令和2年9月23日（水）10：30～11：31

場 所：3号館4階会議室

内 容：

■現状報告

- ・文科省 9月15日付「大学等における本年度後期等の授業の実施と新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について（周知）」について情報共有
- ・清水ヶ丘寮は寮生56名中、30名が戻ってきている。体温を含め体調管理実施し、特に問題なし
- ・附属高校は、対外活動も認められ、特に問題なし
- ・他大学では学長宛に授業料の返還請求が出てきている。本学も対面で授業を実施してきたが、インターシップや実習などに影響があっている。質問等に対応するマニュアル（Q&A）が必要
- ・退学者が出た。心のケア、学生への声掛けを増やしていく

■後期授業開始前の確認事項

- ・保健センター前にカウンセラーの訪問日程を掲示。よりそいホットラインなどの情報提供
- ・後期授業料の相談など学生等から相談があると思われる。関係部署は対応に注意
- ・9月24日開催のFDで「後期の新型コロナ対応」（感染防止方法、食堂利用、オーバーワーク、メンタルヘルス）について説明
- ・食堂は来週から営業。対面式に戻し、アクリルパーティション（後援会支援）を設置（今週中に設置完了）
- ・食堂でマスクを外し、会話をすることは感染リスクが高いため、アクリルパーティションに「会話は控えめに！」のメッセージを貼る
- ・消毒（清掃）を誰が・何時に実施したかをリストにして張り出すなど、恒常的な衛生面の管理が必要ではないか
- ・食堂の入口にサーモカメラの設置の検討
- ・授業時間・休憩時間を、金曜日はミーティングフライデーの時間とし、月曜日から木曜日までは従来の時間に戻す
- ・メンタル的な対応は、保健センターが担当し、マスク、消毒液、除菌シートなど衛生物品の調達・設置や清掃は管財課が担当する
- ・教職員、学生のオーバーワークにならないように配慮する
- ・次年度チューター制度の導入を検討し、上級生が下級生の相談にのり、学生生活支援センターなどへの橋渡し
- ・寮生の年末年始の滞留許可の対応

■健康管理アプリの検討状況

- ・健康管理アプリについては、県の「N-CHAT」の詳細を調べ、試行中の「サーモゲート」と比較して検討し、あわせて他大学の状況を確認予定

■入試の課題と対応

- ・入学試験については、文科省のガイドラインを基に実施を検討
- ・オープンキャンパスを9月27日開催。コース見学を2回、昼食無、県外の受入れ、教職員のみで実施する

- ・高校訪問については、高校側に訪問の確認を取って、許可された学校へ県担当の事務局中心に訪問する

■その他

- ・台風 10 号で 9 月 6 日体育館を避難所として開設。12 世帯 30 名が避難
- ・台風、豪雨の被害状況報告と順次改善していく
- ・高校校舎 1 階については、冠水した後の衛生管理上の問題がある（匂い、カビ、細菌）
- ・「危機対応マニュアル」は意見を基に修正。詳細な対応は必要となるが柔軟に対応をしていく